

報道関係者各位

2014年(平成26年)10月14日

第14回ファンケル クラシック ファンケル クラシック基金 2,822,512 円を 4 団体に寄付

株式会社ファンケル(本社:横浜市中区、代表取締役社長執行役員:宮島和美)が主催するPGA シニアツアー「第14回ファンケル クラシック」が、2014年8月22日(金)~24日(日)、静岡県裾野市の裾野カンツリー倶楽部にて開催され、2010年以来、毎回20,000人以上となる21,286人のお客様にご来場いただきました。

当社では、同大会を社会貢献活動のひとつと捉え、ギャラリーの皆さまからの募金、プロ愛用品のオークションなど、積極的なチャリティ活動を実施しております。

今年は、チャリティ活動における皆さまからのご協力により、2,822,512円を、『ファンケル クラシック基金』を通じて、静岡県裾野市、社会福祉法人訪問の家、国連WFP、NGO団体WaterAidの4団体へ全額寄付いたしました。ご協力いただいた皆さまへの御礼とともに、ここにご報告申し上げます。

当社は、社会の中にある「不安」や「不便」など「不」のつく事柄の解消を企業理念にしております。今後も『ファンケル クラシック基金』のほか、さまざまな形で社会貢献活動を続けてまいります。

【『ファンケル クラシック基金』とは】

当社は、「シニアの元気が日本の元気!!」をスローガンに、静岡県裾野市の裾野カンツリー倶楽部で、2001年よりPGA シニアツアー「ファンケル クラシック」を開催しております。

当社では、同大会を社会貢献のひとつと捉えており、第1回大会より収益金の一部を大会開催地である裾野市などへ寄付してまいりましたが、社会・地域の皆さまへの貢献活動をさらに充実させるため2007年に『ファンケル クラシック基金』を設立いたしました。

毎年、『ファンケル クラシック基金』は、①地域とのつながり②ハンディキャップを持つ人々の応援③環境保護を3本の柱とし、運営委員会の協議により、寄付先を選定しています。



【『ファンケル クラシック基金』運営委員】

高橋勝成氏(プロゴルファー) 二宮清純氏(評論家・スポーツジャーナリスト)
池森賢二(株式会社ファンケル 代表取締役 会長・ファンケル クラシック大会会長)

【2014 年度寄付先】

静岡県裾野市	「ファンケル クラシック」の会場である裾野カントリー倶楽部は、静岡県裾野市にあります。大会会場の地元で有形無形のご支援をいただき、当社が毎年非常にお世話になっている自治体です。
社会福祉法人 訪問の家	「重い障がいがあっても、たくさんの人と関わり青年期を豊かに暮らしてほしい」という想いから、障がいのある方の家族と日浦美智江前理事長により1986年に設立された社会福祉法人です。重度・重複障がい者通所施設「朋(とも)」の開設以来、現在は24の関連施設で活動を展開しています。
国連 WFP	国連 WFP は、飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関です。自然災害や紛争の被災者、妊婦や授乳中の母親、栄養失調の子ども、遺児、病人、老人など最も貧しい暮らしを余儀なくされている人を対象に、毎年平均、70ヶ国以上でおよそ9千万人以上に食糧支援を行っています。
NGO 団体 WaterAid	NGO 団体 WaterAid は、世界の貧しい地域に対し、安全な水の供給と公衆衛生や衛生教育に取り組む組織として、1981年、英ロンドンにて同国の水道関係者を中心に設立された国際的な NGO 団体です。アジアとアフリカの27ヶ国で現地の団体と協力しながら、安全な飲み水の提供、トイレ等衛生施設の整備、衛生状況の改善を促進しています。

【「第14回ファンケル クラシック」寄付結果報告】

チャリティ活動の内訳		収入額(円)	寄付先の内訳		寄付金額(円)
チャリティ募金		281,565	静岡県裾野市		705,628
チャリティオークション		170,000	社会福祉法人訪問の家		705,628
チャリティバザール		362,500	国連 WFP		705,628
ワンオンチャレンジ		116,000	NGO 団体 WaterAid		705,628
その他会場内チャリティ企画 売上金		292,019			
グッズ、飲食販売売上金の一部 (売上の一部を基金に拠出)		1,355,128			
大会2日目・最終日 観戦バスツアー売上金		234,500			
その他		10,800			
合計		2,822,512	合計		2,822,512

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社ファンケル 社長室 IR・広報グループ TEL 045-226-1230 FAX 045-226-1202
--